



下石小だより

令和3年3月1日
3月号(第499号)
練馬区立下石神井小学校
校長 境野宏樹

TEL 03-3997-5241 FAX 03-3997-0942

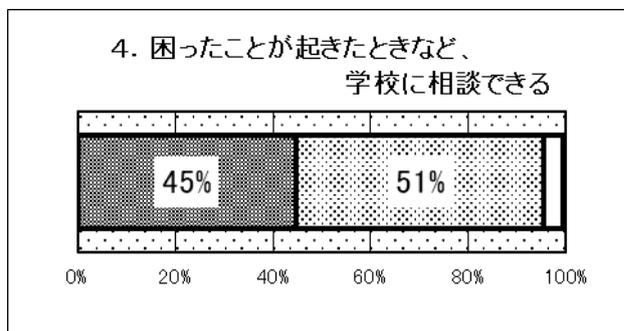
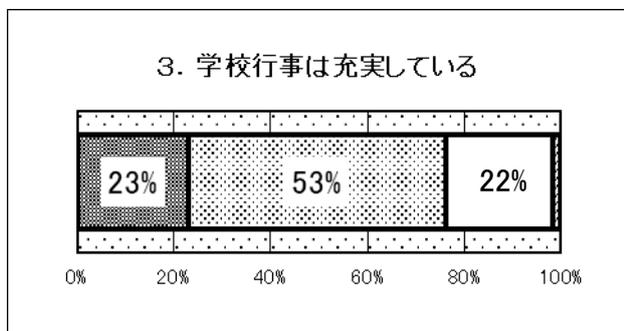
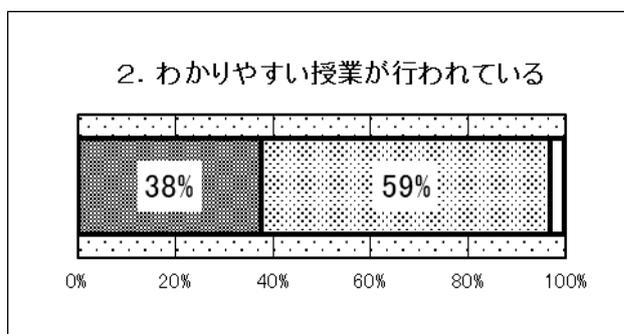
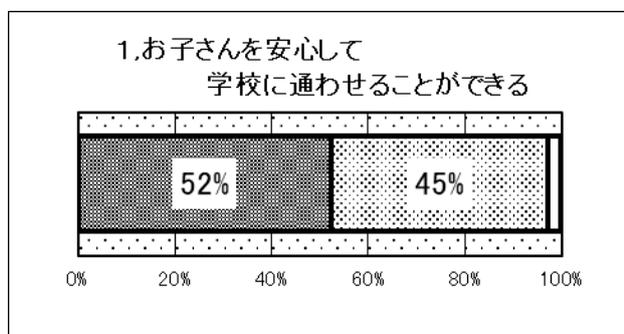
ホームページアドレス <http://www.shimosyakuji-e.nerima-tyky.ed.jp/>

令和2年度 下石神井小学校学校評価結果について

「令和2年度 教育活動についてのアンケート」を実施し、今回の保護者の皆様からの回答数は**694**で、回収率は**74.3%**でした。(前年度は、回答数643、回収率は77.1%でした。)

「学校評価」は、児童がよりよい学校生活を送ることができるように、教育活動の改善を図るために行っています。保護者からのアンケート、児童へのアンケート、教職員の自己評価を行い、結果を集計いたしました。その結果について、学校評議員の方々からご意見をいただき、その結果を「学校関係者評価」として、令和3年度の教育活動に生かし、よりよい下石神井小学校を目指していきたいと思っております。

1 保護者アンケートの結果について



■ A. とてもそう思う

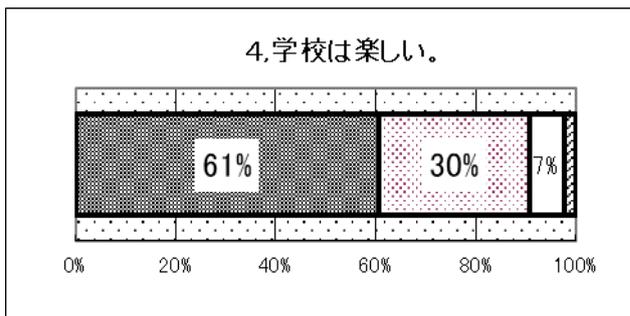
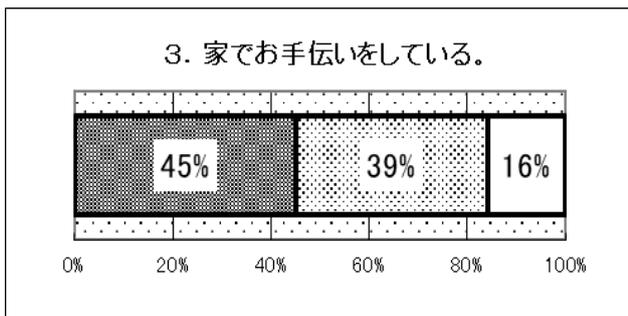
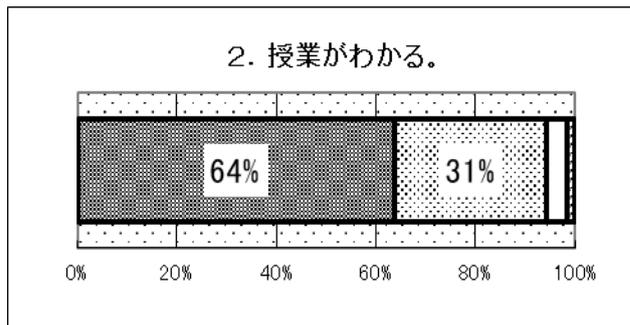
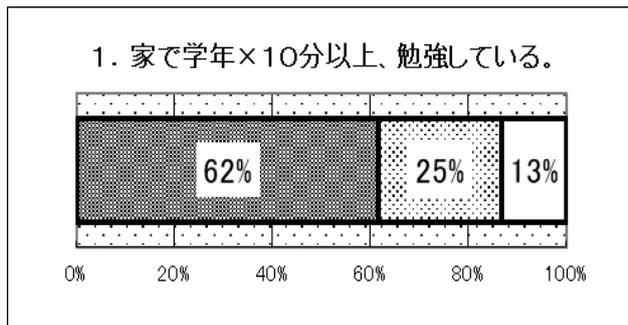
■ B. そう思う

□ C. あまり思わない

■ D. まったく思わない

- 「1. お子さんを安心して学校に通わせることができる」では、肯定的な回答が、昨年は98%で今年度は97%でした。今後も感染防止策を施し、より安心していただけるよう、教職員一同努めていきます。
- 「2. わかりやすい授業が行われている」では、ほぼ肯定的回答でしたが、Cの評価3%については、今後も校内研究や研修等を通して、教員の指導方法や授業改善に努めていきます。
- 「3. 学校行事は充実している」では、昨年の98%から76%へと、22ポイントも下がりました。今年度は新型コロナウイルス関連による学校行事の中止や縮減によるものと思われます。今後も感染防止策を徹底したうえで、少しでも子供たちが満足できる学校行事や教育活動を目指していきます。
- 「4. 困ったことが起きたときなど、学校に相談できる」については、昨年の91%より96%に上がりました。今後も担任やスクールカウンセラー、心のふれあい相談員、養護教諭とも連携を図りながら、より保護者の皆様が相談しやすい環境となるよう、努めていきます。

2 児童アンケートの結果について



■ A. とてもそう思う

■ B. そう思う

□ C. あまり思わない

■ D. まったくそう思わない

- 「1. 家で学年×10分以上勉強している」のC・D回答については、昨年と同じ割合でした。予習や復習など、家庭で学習することの大切さや必要性について、今後も学ばせていきます。ご家庭でのご協力もお願いいたします。
- 「2. 授業がわかる」の肯定的回答は、昨年の96%より95%に下がりました。C・D回答については、昨年の算数少数指導や、理科TT(ティームティーチング)指導の実施、学力向上支援員の配置など、学習でつまづくことがないよう、支援を図っていきます。
- 「3. 家でお手伝いをしている」の肯定的回答は、昨年の83%より84%に上がりました。C・D回答については、道徳や家庭科、学級活動の学習等を通して、家族の一員として協力することの大切さについても学ばせていきます。ご家庭でのご理解とご協力もお願いいたします。
- 「4. 学校は楽しい」について、学校は誰もが安心して楽しい場所であることが本来の姿です。今後も、C・D回答が0%に近づくよう、教育活動全体の工夫や見直しを図っていきます。

3 教員の自己評価の結果について

教員の自己評価については、次の5観点を中心に実施しました。(4段階評価)

○おおむね達成できた事項 ▲課題が必要な事項

①確かな学力(分かる・楽しい・学び合う授業を実現する)

- 宿題及び自主学習、読書などの家庭学習習慣を、各学年・専科等が具体的内容を明示して実施することができた。
- 言語活動を意識した授業を毎日1時間は実践することができた。専科についても、単元ごとに言語活動を意識した授業を実践することができた。
- ▲小学校教育会研究等を生かしつつ、小中大切にする力を身に付けさせるための工夫を全授業で実行する。

②豊かな心(はりあいとあこがれをもつ子供を育てる)

- 特別の教科 道徳における「考える道徳」「議論する道徳」への転換を図るとともに、学年

等で交換授業を行うなど授業改善に努めることができた。

- たてわり遊びやたてわり清掃・水曜集会を中心とした、異年齢集団活動・交流の充実を図り、振り返りなどを通して、自覚を促すことができた。
- 児童や保護者の思いを受け止め、積極的に保護者の相談に応じ、支援する。いじめ・不登校・体罰等の未然防止・早期発見を心掛け、問題行動や配慮を要する児童への対応をきめ細かく行うことができた。

③健康・体力（生涯にわたり、自己の適した運動に親しむ子どもを育てる）

- 休み時間等、進んで子供とともに遊び、体を動かすことが身近となる環境をつくることができた。
- 子供一人一人の状況に応じた、給食指導を中心とした食育を推進することができた。（3.1）
- ▲全学級、体力テストの結果に基づき、オリンピック・パラリンピックに関連した授業改善を実施する。

④愛校心と地域愛（地域の方と教職員が顔見知りになるなど、地域に根差した教職員となる）

- ▲専門性を有するゲストティーチャーや保護者ボランティアを積極的に招聘し、感動のある授業の実現を通して、地域ふるさと意識を高める。
- ▲ホームページや学校・学年・学級・専科だよりなどによって、情報発信を行う。
- ▲地域行事に積極的に参加し、地域に根差す学校づくりに資することができた。

⑤働き方改革（全職員で働き方改革を推進する）

- ▲仕事の効率化や校務改善を行うとともに、教職員一人一人がライフ・ワーク・バランスに取り組むことで、ゆとりをもって子供と向き合えるようにする。

4 学校関係者評価結果より

- 新倉 義博（学校応援団団長） ○加藤 恵子（青少年育成下石神井小地域委員会代表）
- 兒玉 強（特別養護老人ホーム「フローラ石神井公園」施設長） ○畑中 洋人（共栄町会会長）
- 大澤 英昭（練馬区青少年委員） ○田中 茂（令和2年度本校PTA会長）

上記の学校評議員の皆様から、日常の本校の教育活動、保護者・児童のアンケート結果、教職員の自己評価の結果を基に、今年度は紙面において、次のようなご意見をいただきました。

【学校運営について】

- ・今年度はコロナ対策のなかでできることは限られていましたが、形を変えながらも学校活動（行事）が行えたことは、子供たちの思い出として記憶に残ると思います。
- ・先生方のご苦勞は大変だと思います。学校が楽しいと思えない児童がいることが気になりました。大変ななかではありますが、そういう児童がいなくなるよう、引き続き頑張ってもらえると、保護者も心強いと思います。
- ・新型コロナウイルスの中、区のガイドラインの中という制約の中で、よりベターな道を模索しながらということは、大事なことであり、よいことと思います。よくその場その場での状況判断や対応をされたと思います。

【児童について】

- ・「授業が分かる」や「学校は楽しい」の回答に否定的な児童がありますが、これらの児童への支援がとても重要と思います。
- ・「授業が分かる」の回答に否定的な児童は、現に勉強ができる子たちであって、塾などの方が楽しいと感じているからではないでしょうか。
- ・登校時に率先して、交通整理や声掛けで子供たちを見守っているご父兄をお見掛けします。子供たちの安全確保にとっても大事なことだと思います。
- ・児童アンケートの「学校が楽しい」のところで、9%の児童がそう思っていないとなっていますが、何がそうさせているのか。単に勉強が面白くないだけなのではないでしょうか。

【ICT・SNS等情報について】

- ・タブレットPCは、子供たちにとってとても興味深く始められたそうです。思いのほか、体制づくりが早かったのではという印象です。今後は、子供らを引きつけるコンテンツの充実や活用法が課題でしょう、
- ・スマホを使いこなすことはもはや必須の時代です。子供たちは怖いもの知らずということもありますが、試行錯誤でどんどんSNSの世界へ入っていきます。SNSについての正しい知識や怖さ、やってはいけないことなどを、学校で教えることも必須ではないでしょうか。

【その他】

- ・医療従事者への応援メッセージは、素晴らしいやり取りでした。学校を窓口にも、現実の社会とつながっている意識も大切と考えます。

5 自由記述について

●保護者アンケート見解

今年度は、236名（昨年度156名）もの方々から学校について、自由記述欄に評価の理由や要望、励ましの言葉をいただきました。お忙しいところ貴重なご意見をありがとうございます。今年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、学校行事が大幅に制限され、中止や縮減での対応となったことに対するご意見をたくさんお寄せいただきました。記述内容を吟味し、追加等を含めて、大きく10の観点に分けてみました。学校への思いを裏面にまで書いてくださったり、別紙に書いてくださったりした方もいらっしゃいました。大変ありがたいことです。全てではありませんがアンケートに書かれていたご意見に対して、学校としての考えをお伝えします。

○新型コロナウイルス関連

「授業参観を含め学校行事に関して、今年はコロナにより例年通りにできないため評価が難しいですが、今の状況のなかでできるだけ活動を行っていただけていると感じています」「今年はコロナで例年通りの行事が行えずに残念でした」「隣接の杉並区に比べ練馬区はコロナにより課外活動がより制限されているようなので、仕方がないとはいえ、子供たちがかわいそうだと思います」

- 今年度の学校評価で多くの方が要望されていたのが、コロナ禍における学校行事の充実でした。学校行事については、1月の学校だよりにおいて「コロナ禍における学校行事の開催について」と題して学校長としての考えをお示したところです。繰り返しになりますが、学校行事が子供たちにとって一つの目標となり、大きく成長させる場であること、その学年、その学級で何かを行う、取り組むことは一生に一度しかないことなど、学校行事の重要性については、保護者の方々以上に理解しているつもりです。830名を超える子供たちが安全に、そして安心して学校に通えることを第一に考え、練馬区のガイドラインをはじめとするコロナ禍における様々な制約の中で、中止や縮減をせざるものも多々ありましたが、本校として感染防止対策を徹底したうえで、できる限りのことに取り組んできたつもりです。自校の校庭で実施できない運動会の中止をはじめ、見方によってはベストではなかったかもしれませんが、よりベターな道を模索しながらの一年間でした。令和3年度もコロナ禍で新しい生活様式による学校生活は続くと思われませんが、常に「やらないではなく、何ができるか」という視点で、その時々々の感染状況も踏まえながら、できる限り学校行事の充実を図っていきます。

○学校行事

「コロナ対策と並行しつつ、できる限りの行事を開催していただき、遠足でのミニ運動会や音楽会など、子供が目標に向かって努力する機会を与えてくださり、大変ありがたく感じています」「ミニ音楽会とても素晴らしかったです」「社会科見学や移動教室が全てできなかったのが、とても残念です」「ダンス旬間は、保護者にとっても大変興味深い試みでした！家庭で子供たちが楽しそう

にダンスを披露してくれて、和やかな時間を過ごせました」「来年は運動会が実現しますように…」

- 今年度計画していた音楽会は、学年による発表は断念し、学級単位でのミニ音楽発表会を計画しました。しかし、実際に実施できたのは4・5年生のみで、1～3年生については、緊急事態宣言の解除後に発表に向けた授業の様子を見ていただく形にいたしました。音楽の授業において合唱指導が禁止され、リコーダーや鍵盤ハーモニカの演奏もできないなかですが、中止するのではなく、何とか保護者に子供たちの頑張っている姿を生で見ていただこうと考えた結果です。練習ができない状況で発表会としての完成度にはならないと思いますが、子供たちの音楽会にかけた熱い思いを感じていただければと思います。なお、6年生については、リコーダーや鍵盤ハーモニカを使用しない合奏曲を練習しており、学級で取り組んだ一曲を、体育館での保護者会の折に参観していただきました。

なお、開校50周年に当たる下石小の令和3年度の主な学校行事については、10月9日の記念式典を中心に、校舎改築の状況を踏まえながら、以下のように計画しています。運動会については、校庭改修や周年行事との絡みもあり、一昨年度までと同様に石神井南中学校の校庭をお借りして春に運動会を行う予定です。当初6月に予定していた移動教室も、区として7月以降に実施するという意向を受け、現在区内全校で日程を調整中です。また、秋の三大多行事につきましては、学芸会を実施せず、今後展覧会と音楽会の二つを交互に実施することにいたします。学芸会につきましては、そのよさを認めながらも、これまでも学校評価等で様々なご意見をいただき、教職員でも十分に検討を重ねてきた結果としてご了承いただければと思います。次年度については、音楽会のリベンジをとも考えましたが、コロナ禍の制限が数多くあり、計画変更に伴う子供たちの負担も大きいことなど、今年度の反省も踏まえて展覧会を実施することにいたします。

<令和3年度の主な行事>

運動会 : 6月 5日(土) 石神井南中の校庭にて ~5/29(土) 石南中運動会
50周年記念行事 : 10月 9日(土) 記念式典 他 ~内容については検討中
展覧会 : 11月25日(木)~27日(土) ~令和4年度は音楽会の予定
※ 6月に予定していた移動教室は、9月以降の実施に向け、現在日程調整中です。

○学習指導

「授業がオンラインに対応している区や県もあるのに、今後の学力差を不平等に思う。学校には急な措置の対応に感謝しています。文科省に届けー！という感じです」「今後、また緊急事態宣言のような状態になった時は、ぜひオンライン授業を取り入れていただきたいです」「勉強が得意でない我が子が『分かんないこともあるけど勉強は嫌いじゃない』と言えるのは先生のお陰、感謝している」「家庭学習をある程度自主性に任せているところはよい点だと思いますが、課題を出していただけると、さらに意欲が高まるのかな、と思います」「宿題が多すぎる(特に日記、自宅学習をしているので不要)」

- 区より全児童へのタブレットPCの貸与があり、保護者の皆様には日々の充電やパスワードの変更などを含め、様々なご協力に感謝申し上げます。タブレットPCについては、多くの利活用の可能性があるものの、オンライン授業の実施までには様々な課題があるのも事実です。今後、一つ一つ課題をクリアしていくとともに、子供たちには学年の発達段階に応じて指導を進めていきます。家庭学習については、保護者の皆様の日々のご協力に感謝しているところです。課題については、今後も学年や学級の実態に合わせて、取り組ませたいと思います。

○学級経営

「難しい年頃になり、親との関わりが変化しているなか、先生との関わりは、とても楽しいようで毎日いろいろな話をしてくれます」「子供の様子を見ていて、先生のお声掛けの一つ一つが子供のモチベーションにつながっていて、とてもありがたいです」「今年度は担任の先生との意思疎通が図れたので大変ありがたかった。仕方のないことだが、経験豊富で学校のことをよく分かっている先生と、そうでない先生とでは親への対応のスピード感が全く違う」「担任の先生が親身になって話を聞き、アドバイスをしてくれました。誰よりも先に先生に相談させていただき、信頼関係にうれしく安心しました」「子供が担任の先生をととても信頼していて助かっています」「〇〇先生は、親の気が付かない子供のよいところを言葉にして本人へ伝えてくれ、自信につながっている。よく見てくださっていますし、そこに気が付くことが素晴らしいと感じています」「他クラスの先生方を含め、時々荒々しい言葉遣いをしていると聞くことがあります」

- 改めて子供たちが毎日通う学校を楽しんでいるかどうかは、学級担任との関わりが大きく影響していると感じます。今後も子供にかける言葉には十分気を付けるとともに、担任だけでなく、本校の教職員全てがカウンセリング・マインドをもって、子供たち、そして保護者とも対応できるように努力していきます。

OSNS

「顔も知らないネットの友達に自分の写真を送ったり、関係ない友達の写真を送ったり、自宅の場所を教えている子もいるようで、とても心配になります。本当は各家庭で話すべきなのですが、SNSの使い方や危険性について、再度お話ししていただけるとありがたいです」「3年の女子で自分用のスマホを公園で何人かで持ち寄って TikTok で動画を撮って、up している子がいました。3年生でスマホ自体心配なのに TikTok を up していることに驚きました。まずは親が注意すべきことだと思いますが、学校側からも注意喚起と現状把握をお願いしたいです」

- SNS については、情報モラル教育の一つとして、学校でも指導しておりますが、ご家庭で目的があって購入したスマホ等であり、また各家庭での約束事があることなどから、一般的な話にならざるを得ないのが実情です。以前学校だよりも書かせていただきましたが、子供にスマホ等を使わせるのには、保護者の方の相当な覚悟が必要です。対面でも人とのコミュニケーションをとることが難しく、文章力も未発達な子供が、文字を通して人とやり取りすることがいかに困難であるか、ということは、大人であれば容易に想像がつくかと思えます。子供の個人差が大きく、ご家庭の事情の違いなどもあるので、一概に言うことはできませんが、フィルタリングはもちろん、子供が今何に興味があり、スマホ等でどんなソフトを使って、どんなことをしているのか、子供とよく話し合いができて把握することができないのであれば、使わせるのを遠慮していただいた方がよいのではと考えます。事前の約束事などなしに安易にスマホ等を使わせることは、今後高い確率で、友達との関係でトラブルを起こすか、怪しいサイトとつながる危険があることは知っておいた方がよろしいかと思えます。区より貸与されたタブレット PC についても、用途は違いますが、同様なことは考えられます。もちろん今後、学校でも情報モラルについての指導は丁寧に行っていく予定です。

○安全・登下校

「校舎の建て替えに伴って、通学路が頻繁に変更になる点で不安が大きい」「臨時通学路が家からだとかなり遠回りになっています」「一時的なものですが、今の校門（注：給食門）が車道に面しており、狭い歩道に児童があふれそうになっています。事故が起これかねない状態なので改善いただければ幸いです」「下校したことが保護者に分かるようなシステムがあると、もっと安心して学校に通わせることができますと思います」「学童で使用しているねりまキッズ安心メールの導入を検

討していただけると登下校の安心感が増します」

- 通学路については、学校の通用門の変更に伴うものと思います。何度にもわたる変更により、ご不便ご心配をおかけしておりますが、いよいよ令和3年度の9月には、校庭改修を含む全ての工事が終わり、以前使用していた北門やプール門も使えるようになります。子供たちも給食門を使った登下校に慣れてはきていますが、給食門付近は車の往来もあり、危ないのは事実です。学童養護の見守りやカラーコーンの設置など、安全対策をしたうえで学級指導もしておりますが、ご家庭での声掛けも引き続きお願いできればと思います。また、下校を知らせるようなシステムについては、保護者からの意見として区に要望していきます。

○保護者会・個人面談（教育相談日）・授業の参観

「運動会や音楽会などの行事が中止になってしまい、教室での授業風景も見ることができないのが残念です」「体育の授業参観のときは、先生が子供たちのよさを褒めながら指導されていてよかったです」「体育の授業も楽しく見させていただきましたが、ぜひ、教室での授業参観を希望します。」「先生の授業や活動を参観できる機会がコロナの影響でかなり少なくなってしまったことが本当に残念でなりません」

- 新校舎になったものの、常時換気システムの導入に伴い、以前よりも教室が手狭になっています。児童数が40人近い学級では、当初から学校公開時の教室での参観に無理があると感じていましたが、コロナ禍となり、3密を避けることが難しいというのが現状です。結果的に、今年度は区のガイドラインに従い、学校での参観をご遠慮いただくことがほとんどとなってしまいましたが、練馬区の全小中学校は、第二土曜日について授業の公開を原則としております。来年度も児童の安全を第一に考え、感染予防対策を講じたうえで、新型コロナウイルスの感染状況も鑑みながら、できる範囲で学校公開を実施していきます。

なお、授業時数確保の観点から、来年度も個人面談は夏季休業中（前半のプール実施期間中）に実施いたします。今年度実施できなかった2学期の希望制による教育相談日（個人面談）につきましては、12月を予定しています。

○PTA・ひろば等

「ひろばにねりまキッズ安心メールが導入されると助かります」「放課後のひろば室の学習スペースが仮校舎時よりも減り、遊ぶスペースと分かれていないため、騒がしくて宿題をしづらいようです」

- 令和3年度には、いよいよ下石神井小ねりっこクラブの事業も始まります。ひろば自体もねりっこクラブの一つとして練馬区の放課後事業となりますので、今後直接担当にも声を上げていただければと思います。もちろん学校施設を貸し出すこととなる本校としても、保護者からこのような要望が上がっているということは、今後も区に伝えていきます。

○その他

「口内環境ケアのため、昼食後歯磨きの時間を設けてほしい」「校舎内の清掃具合が気になります。せつかくの新しい校舎なので、もっときれいだとうれしいです」「ホームページでも日々の学校の様子が分かり、身近に感じることができます」「素朴な疑問なのですが…新校舎はなぜ、給食室の中が見えないのでしょうか？モリモリよく食べ、毎日楽しみにしている我が子たちは、作っている様子も気になるようです」

- 歯磨きの時間設定は難しいものがありますが、学校において歯磨きを禁止しているわけで

はありません。水道の蛇口の数に限られ、安全上の問題もあり、全校児童が一斉に歯磨きを行うことはできませんが、個別に昼休みの時間などを利用して歯磨きをすることは可能です。清掃については、おっしゃる通りですが、今年度につきましては、仮設校舎やプールの解体などで、敷地内に土砂が積み上げられていたのも要因と思われます。今後も、用務主事による学校全体の清掃をはじめ、児童への清掃指導を丁寧に行っていきます。また、学校ホームページについては、今後もできるだけ学校の様子を伝えられるよう、更に充実を図っていきます。給食室については、保護者の方がおっしゃる通りです。今後、動画での紹介になるかと思いますが、給食が作られる様子は子供たちにも伝えていきたいと思っています。

○漢字検定（追加）

「学校で団体受検できることで、塾に在籍していなくても簡単に申し込みができ、また、慣れた会場で受検できるので、子供にとってチャレンジしやすい状況だと思います。続けられる限りは続けてほしいです。当日ボランティア、また参加します」「上の子が小学生の時には学校団体受検がなく、まだ幼い下の子を連れて遠くの会場まで付き添っていたので大変でした。学校での受検は子供も比較的にリラックスして臨めますし、親としても安心です。漢検を身近に感じる事ができてよいです。ずっと続けてほしいなと思っています」「慣れた学校で友人と受けられるので、勉強のきっかけにもなり、模試の練習にもなるのでありがたいです。卒業生や家族、地域の方も受検できたらよいとは思いますが、ボランティアがもっと増えないと厳しいですね」

→ 平成28年度から続いて5回目の漢検となりました。今年度は、漢検友の会の方々が一貫して準備を進め、前日の会場準備から当日の運営まで、今年もたくさんのボランティアの方のご協力が無事に終了することができました。今年度は、緊急事態宣言が発出中での実施となったため、感染防止対策や運営方法についての課題もありましたが、本校を会場にして漢検を実施したことについては、称賛する声が多く聞かれました。次年度も、漢検友の会や漢検ボランティアの協力を得て、本校を会場にして漢検を実施していきます。

【今年度の結果】 申込者数 318 名（本校児童数の 38.0%） 実際の受検者数 315 名
今年度の検定結果は、3月9日（火）に漢検より発送される予定です。

【来年度の漢検】 令和4年1月29日（土）に実施予定

<応援メッセージを送った医療従事者の方からのお礼の手紙>一部

私たちは集中治療を専門に行う医師です。昨年3月から年間ずっと集中治療室で新型コロナウイルス肺炎の重症患者さんを治療してきました。

この一年間、毎日、気圧を低くした陰圧室という部屋で防護服を着て緊張しながら治療してきました。医師も看護師もスタッフはみな疲れてきましたが、皆さんからの応援メッセージを読んでとても勇気づけられました。元気が出てきました!!!おかげでこのウイルスに打ち勝つまで頑張れそうです!!!

皆さんも外で思いっきり遊べない毎日ですが、マスクもゴーグルもいない日が来たら、ため込んだエネルギーを大爆発させてください。元気な顔を見せてくださいネ!

この度は、温かいメッセージをありがとうございました。とても励みになり、勇気づけられました。私たちが働く救命救急センターには、毎日多くの救急患者さんが運ばれてきます。コロナの患者さんが増えると、どの病院も救急患者さんの受け入れが難しくなり、救える命を救うことができなくなってしまいます。私たちはそうならないことを願いながら働いています。皆さんは、マスクや消毒など毎日大変ですが、皆さんが元気でいてくれることが、実際に多くの患者さんの命を救うことにつながっています。皆さんの頑張りに感謝します。本当にありがとうございました。

皆さんの温かいメッセージにスタッフ一同、感謝しております。ありがとうございました。メッセージカードを読んで涙をこぼし喜んでいるスタッフがいます。皆さんの応援をパワーに変え、重症患者さんと一緒に、これからも頑張っていきます。どうぞ、皆さんも感染予防策を徹底し、楽しい学校生活を過ごしてください。

たくさんのメッセージにとっても励まされました。メッセージには「手洗い・うがい・消毒・マスク」をして気を付けていることがたくさん書かれていて安心しました。自分で予防できることをやり続けることが健康につながります。「ウイルスをもらわない。広げない」ための行動を、ご家族と一緒に実践して元気に過ごしてくださいね。

～ 昭和大学病院の許可を得て掲載しております。

昨年末に小池都知事の「医療従事者の方々への感謝の気持ちを込めて応援メッセージを送ろう」との呼びかけに答えてメッセージを書いてくれた子供たちに対して、昭和大学病院の病院長をはじめとする医師や看護師など、メッセージを読まれた職員の方からお礼の手紙が学校に届きました。日常の勤務でも大変お忙しいと思われるのですが、子供たちの言葉から元気をもらい励まされています、と丁寧なお手紙を17人分も送っていただきました。

実は、この取組は、区教委を通して具体的な手順が届いたのが2学期末ぎりぎりだったため、任意での実施となり、区内の小中学校全てがこの取組に参加したわけではありません。本校でも児童に声を掛けられたのが終業式の前日、そして終業式の日には回収して都の窓口に発送しなければならないというスケジュールだったため、実施するかどうかも迷いました。最終的には、価値のある大事な取組であると判断し、お昼の放送で「自分自身も感染してしまうかもしれないという状況のなか、年末年始も私たちの命を守ってくださっている医療従事者の方々に、感謝と応援の気持ちを伝えよう」と呼び掛けました。そしてその翌日には、たくさんの子供たちが、それぞれの思いを文やイラストにかいて持ってきてくれました。多くの子供たち、そして保護者の皆様のご協力で、子供たちの熱い応援メッセージを医療従事者の方々に届けることができたことをうれしく思うとともに、今回、実際に医療従事者の方々に読んでいただき、モチベーション・アップにもつながったということを知り、改めて取り組んでよかったと思いました。お礼が遅くなってしまいましたが、保護者の皆様のご協力に心より感謝申し上げます。今後も、子供たちにとって意義があると思われる活動は、積極的に取り組んでいきます。

なお、昭和大学病院の医療従事者の方々からいただいた手紙の全文は、3月3日までは、3階中央階段前の教室（図工の校内代表作品が展示）に掲示しております。1・2年生の保護者の方は、ご都合がつかましたら、保護者会の折にご覧になっていただければと思います。3月4日以降につきましては、1階職員室前に掲示する予定です。

待望のワクチン接種も始まったものの、令和3年度もマスクの着用が当たり前の「新しい生活様式」を踏まえての学校生活は続くでしょう。準備を進めてきた令和3年度の教育課程も最後の調整の段階に入っています。「コロナ禍ということも分かるが、学校行事を充実させてほしい」という多くの保護者の皆様から寄せられた願いをしっかりと受け止めながら、開校50周年となる令和3年度も教職員一同、力を合わせて頑張ります。素直でやる気いっぱいの子供たちが通う下石小が「生き生きと笑顔あふれる学校」でいられますように、次年度も保護者や地域のご協力をいただければと思います。よろしく願いいたします。

◇ 3月・4月初め 行事予定 ◇

日・曜日	行事 () は学年	日・曜日	行事 () は学年
1 (月)	全校朝会・委員会活動 短縮4時間授業(1・2)～5日まで	23 (火)	短縮5時間授業(2)・大掃除
2 (火)	保護者会(1・2)安全指導	24 (水)	修了式・給食終・卒業式予行
3 (水)	児童集会(集会委員会)	25 (木)	卒業式(6)※休業日(1～5)
8 (月)	クラブ活動(15分間)	26 (金)	春季休業日始
9 (火)	音楽授業参観(2)	4月(主な予定のみ)	
10 (水)	音楽授業参観(3)たてわり班活動	5 (月)	春季休業日終・準備登校(6)
11 (木)	音楽授業参観(1)	6 (火)	始業式・入学式(1)
15 (月)	全校朝会	7 (水)	給食始(2～6) ふたば保護者会・安全指導
20 (土)	春分の日	8 (木)	保護者会(5・6)
22 (月)	短縮4時間授業(1)～23日まで	13 (火)	保護者会(3・4)
		15 (木)	保護者会(1・2)
		19 (月)	給食始(1)

※今後の感染状況や国、都、区の方針を受けて、予定が変更となる場合があります。

※3月の避難訓練は、火災発生を想定して実施します。(予告なし)

3月の生活目標

1年間の反省をしよう

子供たちの心のケア ☆スクールカウンセラー☆

いじめや人間関係、学校内外の生活のことなどで不安をもつ児童に対応するため、スクールカウンセラーが子供たちの相談にのります。また保護者の方によるご相談もできます。

☆相談日は、木曜日(小川カウンセラー)・金曜日(二通カウンセラー)です。

◆ご予約は、学校の電話番号または、相談室専用番号080-2012-2697までどうぞ。

子供たちの心のケア ☆心のふれあい相談員☆

「心のふれあい相談員」は、児童の悩みや不安などを和らげるために、児童の話し相手になったり、相談を受けたりします。保護者の相談にも当たります。相談室だよりもご確認いただき、どうぞご利用ください。**☆相談日は、火・水曜日です。(浅沼玲子先生)**

◆ご予約は、学校の電話番号または、相談室専用番号080-2012-2697までどうぞ。

◆ お知らせ ◆

○転出や転入について

学校では4月からの新年度に向けて準備を進めています。学級編成の都合上、今後転出する予定がありましたら、すぐ担任までお知らせください。また、お知り合いの方などで、転入される方がいらっしゃいましたら、学校までお知らせいただくと助かります。

○新年度(令和3年度)の主な行事予定について

☆1学期始業式	4月 6日(火)	☆1学期終業式	7月 20日(火)
☆2学期始業式	9月 1日(水)	☆2学期終業式	12月 24日(金)
☆3学期始業式	1月 8日(土)	☆2学期終業式	3月 24日(木)
☆運動会	6月 5日(土)※予備日は6日(日)		
☆50周年式典	10月 9日(土)		
☆土曜授業日	6月から2月までの第二土曜日のみ実施。(8月を除く)		

★下石神井小学校ホームページ★

日々の学校の様子や給食日記、
学校からのお知らせ等を、
ほぼ毎日更新しています。ぜひご覧ください♪



下石神井小

検索

